



礼文島環境フォーラム 2014 利尻礼文サロベツ国立公園指定 40 周年記念

国立公園とトモに生き トモに働く

9月20日(土)

自然と地域社会の共生へ向けて、地域は国立公園をどのように活用したら良いのでしょうか？また、国立公園ではどのような「協働」が必要なのでしょう？利尻礼文サロベツ国立公園にとって、そして礼文島にとって、「自然と地域社会の共生のための協働」とは何かを考えてみたいと思います。

会場 ■ピスカ 21 2階大研修室 12時30分開場 13時開演 参加費無料／申し込み不要／当日参加も歓迎

●利尻礼文サロベツの協働 各地区からの報告 13時10分～13時55分

利尻——「利尻山登山道維持管理の取り組みについて」岡田伸也氏（株式会社トレイルワークス代表）

サロベツ「上サロベツの自然再生の取り組みについて」嶋崎暁啓氏（NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク事務局長）

礼文——「始まった礼文島自然歩道の協働管理、その成果と課題」中野雄介（NPO 法人礼文島自然情報センター）

●パネルディスカッション「私たちにとっての協働」14時00分～15時00分

岡田伸也氏 嶋崎暁啓氏 八巻一成氏（森林総合研究所 北海道支所 グループ長）

古川葉子氏（ペンションオーナー 礼文旅館民宿組合役員）

宮本誠一郎氏（礼文島いきものつながりプロジェクト推進協議会自然歩道分科会座長）

コーディネーター 中島信人 自然保護官（環境省稚内自然保護官事務所）

●まとめと基調講演「自然と地域社会の共生のための協働とは？」15時05分～15時45分 八巻一成氏

主催：礼文島環境フォーラム実行委員会（礼文町 / 環境省稚内自然保護官事務所 / NPO 法人礼文島自然情報センター）

お問い合わせ NPO 法人礼文島自然情報センター 電話 0163-85-7830

*懇親会を同会場で16時より行います。参加費2000円（要申し込み）軽食とお飲み物